

標 題 : Mediterranean Diet Adherence is Associated with Lower Prevalence of Functional Gastrointestinal Disorders in Children and Adolescents.  
小児および青少年で地中海食事の順守は機能性胃腸疾患の低い有病率と関連する

---

著 者 : C. Agakidis, et al. (ギリシャ テッサロニキ・アリストテレス大学  
イッポクラテオ総合病院 第一小児科)

---

掲 載 誌 : Nutrients. 2019 Jun 6; 11(6). pii: E1283.

---

要 旨 :

食事パターンは機能性胃腸疾患(FGIDs)の有病率に關与する可能性がある。  
今回の研究は、FGIDs と地中海食事の順守との間の關連を小学生およびハイ  
スクールの学生の間で調べることを目的とした。  
追跡コホート研究で、6-18 歳の被験者 1116 人(小学生 387 人とハイスクールの  
学生 448 人)からデータを収集した。  
FGID の確認は、小児胃腸症状に関するアンケートローマⅢ(QPGS-RⅢ)に  
基づいた。  
地中海食事の順守を、KIDMED 指数を用いて評価した。  
完全なデータは、アンケート 1116 件中 835 件が入手可能であった。  
ローマⅢ基準に基づいて、参加者 835 人中 184 人(22%)が FGID [122 人  
(66%)は機能性便秘(FC)] と確認された。  
FGIDs の有病率( $p=0.001$ )は、ハイスクールの学生(13-18 歳)で有意に高かつ  
た。  
コホートで、KIDMED スコアは  $5.7 \pm 2.5$  であった。  
FGIDs の被験者は、コホートおよび小学生とハイスクールの学生のサブグル  
ープの両方で非 FGID グループと比較して、低い KIDMED スコアを示した  
(FGID 対 非 FGID : それぞれ  $p=0.001$  および  $p=0.007$  と  $p=0.032$ ) 。  
年齢サブグループを調整した後で、KIDMED スコアを FGIDs および FC の  
重要な予測因子として多変量解析が強調した。  
地中海食事の良い順守は FGIDs(機能性胃腸疾患)の低い有病率と関連し、そし  
て小児と比較して青少年は有意に高い FGIDs の有病率を示すと、我々は結論を  
出す。

キーワード : KIDMED スコア、地中海食事、QPGS-Ⅲ(小児胃腸症状アンケート-Ⅲ)、  
機能性便秘、機能性胃腸疾患、調 査

---